

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分			
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄				評価点		重み係数		全体	
Q 建築物の環境品質										3.0	
Q1 室内環境								0.40		3.1	
1 音環境						2.6		0.15		2.6	
1.1 騒音						3.0		0.40		3.0	
1.1.1 1 暗騒音レベル						3.0		1.00		3.0	
1.1.1.1 1 暗騒音レベル											
1.2 遮音						3.0		0.40		3.2	
1.2.1 1 開口部遮音性能						3.0		1.00		3.0	
1.2.1.1 1 開口部遮音性能											
1.2.1.2 2 界壁遮音性能						3.0				3.0	
1.2.1.3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0				4.0	
1.2.1.4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0				3.0	
1.3 吸音						1.0		0.20		1.0	
2 温熱環境						3.0		0.35		3.0	
2.1 室温制御						3.0		0.50		3.0	
2.1.1 1 室温設定						3.0		0.63		3.0	
2.1.1.1 1 室温設定											
2.1.1.2 3 外皮性能						3.0		0.38		3.0	
2.1.1.3 4 ゾーン別制御性											
2.1.1.4 5 室温調節											
2.1.1.5 6 室温調節											
2.1.1.6 7 室温調節											
2.1.1.7 8 室温調節											
2.2 湿度制御						3.0		0.20		3.0	
2.3 空調方式						3.0		0.30		3.0	
3 光・視環境						3.0		0.25		3.4	
3.1 昼光利用						3.0		0.30		3.6	
3.1.1 1 昼光率						3.0		0.60		3.0	
3.1.1.1 1 昼光率											
3.1.1.2 2 方位別開口										3.0	
3.1.1.3 3 昼光利用設備						3.0		0.40		3.0	
3.2 グレア対策						3.0		0.30		4.0	
3.2.1 1 窓面遮光対策											
3.2.1.1 1 窓面遮光対策											
3.2.1.2 2 昼光制御		ブラインドもしくはカーテン+庇により昼光制御している。				3.0		1.00		4.0	
3.3 照度						3.0		0.15		3.0	
3.3.1 1 照度						3.0		1.00		3.0	
3.3.1.1 1 照度											
3.4 照明制御						3.0		0.25		3.0	
4 空気質環境						3.0		0.25		3.6	
4.1 発生源対策						3.0		0.60		4.0	
4.1.1 1 化学汚染物質		室内の仕上げ、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用している。				3.0		1.00		4.0	
4.1.1.1 1 化学汚染物質											
4.1.1.2 2 化学汚染物質											
4.1.1.3 3 化学汚染物質											
4.1.1.4 4 化学汚染物質											
4.2 換気						3.0		0.40		3.0	
4.2.1 1 換気量						3.0		0.50		3.0	
4.2.1.1 1 換気量											
4.2.1.2 2 自然換気性能										3.0	
4.2.1.3 3 取り入れ外気への配慮						3.0		0.50		3.0	
4.2.1.4 4 給気設備											
4.3 運用管理											
4.3.1 1 CO ₂ の監視											
4.3.1.1 1 CO ₂ の監視											
4.3.1.2 2 喫煙の制御											
4.3.1.2.1 2 喫煙の制御											
Q2 サービス性能						-		0.30		-	
1 機能性						4.0		0.40		3.8	
1.1 機能性・使いやすさ						4.0		0.60		4.0	
1.1.1 1 広さ・収納性											
1.1.1.1 1 広さ・収納性											
1.1.1.2 2 高度情報通信設備対応										4.0	
1.1.1.3 3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている				4.0		1.00		3.0	
1.2 心理性・快適性						4.0		0.40		3.5	
1.2.1 1 広さ感・景観										3.0	
1.2.1.1 1 広さ感・景観											
1.2.1.2 2 リフレッシュスペース											
1.2.1.3 3 内装計画		パース、モデルルーム等による内装計画を行っている				4.0		1.00		4.0	
1.3 維持管理											
1.3.1 1 維持管理に配慮した設計											
1.3.1.1 1 維持管理に配慮した設計											
1.3.1.2 2 維持管理用機能の確保											
2 耐用性・信頼性						2.9		0.31		-	
2.1 耐震・免震						3.0		0.48		-	
2.1.1 1 耐震性						3.0		0.80		-	
2.1.1.1 1 耐震性											
2.1.1.2 2 免震・制振性能						3.0		0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.1		0.33		-	
2.2.1 1 躯体材料の耐用年数						3.0		0.23		-	
2.2.1.1 1 躯体材料の耐用年数											
2.2.1.2 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0		0.23		-	
2.2.1.3 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0		0.09		-	
2.2.1.4 4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0		0.08		-	
2.2.1.5 5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水に硬質塩化ビニルライニング銅管、排水に硬質塩化ビニル管				4.0		0.15		-	
2.2.1.6 6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0		0.23		-	

2.4 信頼性			2.6	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.19	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		1.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.29	2.8	1.00 2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50
1	階高のゆとり		-	-	3.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.1	1.00	-	-
1	空調配管の更新性	構造部材を痛めることなく更新できる。	3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		4.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	- 2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	- 2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	- 3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	- 3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	- 3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40	-	- 3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20	-	- 2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		照明エネルギー消費係数が0.27	4.0	0.40	-	- 4.0
4 効率的運用			-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	- 2.7
1 水資源保護			3.0	0.15	-	- 3.0
1.1	節水		3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63	-	- 2.5
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22	-	- 3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	フローリング、壁紙等の接着剤にF☆☆☆☆を使用している。	4.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-
1	消火剤	ハロゲン、不活性ガスともに使用していない。	4.0	0.50	-	-
2	断熱材		2.0	0.50	-	-
3	冷媒		-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	- 2.8
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33	-	- 3.3
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	- 2.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場の台数が十分である。串刺し駐車がない。	4.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	- 3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-
2	振動		3.0	0.33	-	-
3	悪臭		3.0	0.33	-	-
3.2 風害、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-
2	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	広告塔がない。	4.0	0.70	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-